

皆様、厳しい暑さが続きますが、いかがお過ごしでしょうか。体調管理に気をつけて、この夏も元気に乗りきっていきましょう。

令和の時代が始まってまだ数カ月。新しい時代の到来に様々な希望や期待が寄せられたことと思いますが、全国各地での地震や大雨、幼い子どもが巻き込まれる事件・事故などの報に触れる度に、私たちが日頃から備え対応していかなければならない課題は、時代が変わっても常に身近にあ



ることを思い直させられます。

「人々が美しく、心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という新たな時代に込められた意味や願いを実践できる地域づくりを目指して、これからも活動して参ります。

安田そうへい

そうへいの議会トピックス



直近の議会での決定事項や進捗状況についてお知らせします

1. 令和元年第2回定例会(6月定例会)における主な議案について

- 元年度一般会計補正予算第1号(合計9951万円の増額)⇒結果、一般会計総額は337億2262万円。その主な内容は、
 - ①プレミアム付き商品券事業3億8838万円：10月からの消費増税に伴い地域消費の喚起・下支えのため、低所得者・子育て世帯向けの商品券発行事業。4千円につき1千円分のプレミアムが付き、一人2万円(額面2万5千円分)まで購入できる。
 - ②マリンタウン地区(旧港埋立地)における市道整備2億5千万円
 - ③農林水産物輸送コスト等支援事業2195万円：今年度より始まった3加工品・3原材料の鹿児島までの海上輸送分のコスト支援。
 - ④風しん感染拡大防止事業1123万円：集団予防接種がなかった昭和37年4月2日～54年4月1日生まれの男性を対象に、抗体検査や予防接種を3年計画で行う。
 - ⑤蛍光管分別・処理事業516万円：家庭から出る有害ごみの蛍光管の分別処理にかかる手数料や拠点回収のためのボックス70カ所分の設置費用等。
 - ⑥未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特例給付金122万円：消費増税に伴う子どもの貧困対策のため、これまで加算されていなかった分を該当世帯に一件当たり17500円支給する。
 - ⑦本庁舎建設事業6億3600万円の減額：工期延長により完成が来年度となるため、今年度予算を減額

し、次年度までの債務負担行為として同額を計上している。

- 国民健康保険事業特別会計補正予算(専決処分)
- 消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備等に関する条例：消費増税に伴い、本市施設等の使用料見直しを図るもの。消費税転嫁対策特措法に基づく。
- 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例：貸付利率年3%⇒1%、保証人を必須要件から外す、償還方法に月賦払いを設定、延滞利率年10.75%⇒5%に変更。
- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消を図るための、来年度政府予算に係る意見書採択に関する請願 ⇒ 採択
- 「奄美駐屯地の現状と今後の動向」について住民説明会を求める陳情 ⇒ 不採択
- 地方財政の充実強化を求める意見書提出の発議 ⇒ 可決
- 職員の綱紀粛正及び服務規律遵守を求める決議 ⇒ 可決

2 議会活性化について

年度ごとに設置される「政策立案推進会議」、今年度のテーマは「子ども・子育てに関すること」。10月の改選までに分野を絞って、政策提言がなされる予定です。議会活性化検討委員会でも議会基本条例の改正を検討中。9月定例会で提案する予定です。なお、今回より議席上の賛成・反対ボタンによる電子採決が始まりました！

ミニレポート

しっかり報告!!!



に依じていろいろと見直しも必要では、と考えます。

2 再発防止対策検討委員会

「平成27年11月 奄美市立中学校 生徒の死亡事案 に関する第三者 調査委員会」の 調査報告書を受けて発足させた「再発防止対策

検討委員会」に関し、委員構成について中立公平な第

三者が少ないのではないかと、また開催回数も計5回

では少ないのではないかと問うたところ、教育長より、

ご遺族と第三者委のメンバーを検討委の委員に加えた

いとの答弁を頂きました。これはご遺族も望んでいた

ことなので一歩前進と思いますが、大事なのはこれか

らです。教育委員会にはご

遺族の思いにしっかりと寄り添っていただき、お互いに納得できる生徒指導・いじめ防止などのあり方を練り上げてほしいです。

3 あまみエフエムへの支援

私たちの暮らしに欠かすことのできない、あまみエフエム「デイ！ウエイヴ」。とりわけ、台風や豪雨など災害時ににおいては非常に頼りになる

最も身近な情報源です。本市との「災害時の放送に関する協定」に基づき、緊急

災害情報の発信をされていますが、民間のNPO法人

でもあり、経営基盤は盤石とまでは言い難いところ。

災害時に停電の際、笠利・

住用計3カ所の中継局にス

タッフを6時間おきに派遣し、発電機の給油をして放送を届けているのです。あまみエフエムの公共性・公益性を踏まえ、本市によるさらなる支援を提案したところ、若干の前進となる答弁を頂きました。より良い連携強化を願っております。

特集

■菊名おでかけバスの事務局にて。この事務所も、市民が提供する物件で、極力行政に頼らず、「自分たちのことは自分たちで」という気概にも大変感動しました！



1 奄振農林水産物等 輸送コスト支援事業

多くの民間事業者の要望により、今年度から加工品・原材料にまで対象が広がった本事業。今年度の対象品目と事業費は表の通りです。「ん、金額が偏ってない？」など様々な感想があることでしょう。特に大島紬と並ぶ伝統産業である黒糖焼酎については、コンテナ輸送のみ

	品目	金額(万円)
加工品分	粗糖(ざらめ)	1877
	黒糖焼酎	70
	飲料水	86
原材料分	かぼちゃ用化成肥料	12
	たんかん用化成肥料	6
	クルマエビ用配合飼料	144
	合計	2195

が対象となるため、市内5社中2社だけが支援を受けられる見込み。新しい制度の創設に感謝しつつ、利用状況

特集

5月21日から24日まで、3泊4日の行程で埼玉県八潮市・三郷市・神奈川県横浜市・東京都北区を訪問・調査しましたので、その結果を報告します。

中同士で引き継いでおり、良い効果が生まれていました。



■三郷市の早稲田小学校にて。校内至る所に子どもたち向けの本が置かれ、いつでも読める環境になっています。壁には読書欲を刺激する情報も多数掲示されています。

「次世代の図書館」といえます。

学力向上の取り組み

埼玉県八潮市

人口約9万人、10小学校・5中学校があり、小中一貫教育に力を入れています。教職員の意識改革をテーマに「小中一貫教育推進委員会」を設置、5つの部会を設けて小・中それぞれの教職員の交流を深め、生徒主導型の「八潮スタンダード」に則った授業運営に努めています。また、特別な支援を必要とする児童・生徒について情報共有を図り、対応方法や気付きなどを小・

日本一の読書のまち

埼玉県三郷市

人口14万人、19小学校・8中学校があり、八潮市と同じく東京のベッドタウンです。平成18年より総合計画に「読書」を位置付け、25年には市議会議決で「日本一の読書のまち」を宣言。学校をはじめ、市全体で読書の推進に取り組んでいます。中でも、市立図書館内に「電子図書館」を設置し、バリアフリーに対応するとともに、電子書籍の貸出もなされています。まさに「次世代の図書館」といえます。

菊名 おでかけバス

横浜市北区

新横浜駅近く、山坂の多い込み入った住宅街・菊名。公共交通としてのバス運行が困難なため、市民団体自らが「コミュニティバス」として7人乗りワゴン車を週一日、同一ルートを7周走らせる活動に取り組んでいます。法規制への対応として、様々な地域活動により財源を確保。買い物弱者対策・おでかけ支援だけでなく、高齢者と子育て世代の交流を生むなど、長い目で

東京シユール

東京都北区

様々な効果を生み出そうと努力する姿が印象的でした。

わが国のフリースクール（不登校児童・生徒等が通う、学校に代わる学びの場）の先駆けともいえる東京シユール。奥地理事長に講話を頂き、その教育理念に大きな感銘を受けました。「学校だけが学びの場ではない、その子に寄り添った成長支援の選択肢を増やす。」子どもの自己肯定感を最も大事にして、子どもが主役の場づくりに徹しています。3年前に成立した「教育機会確保法」に基づく取り組み、本市でも進めたいです。

ミニコラム～横浜から④～

考えをすぐ行動に

映画ファンです。映画館が近かったのと、親兄弟の影響で、小学生の頃から洋画を見続けています。最近立て続けに3本。ウイーンの世紀末「クリムト」、孫と見た「アラジン」、そして米国

最強・最凶チェイニー元副大統領の「バイス」。映画は忙しくしているとつい見逃がしてしまいます。先日亡くなった竹村健一さんは「チャンスの神様は非常に短気、ごちゃごちゃ言っているとさっさと場所を変えてしまう」と。考えをすぐ行動に移すことの大切さを思います。(子)

コラムそのいち

議会 活性化 検討委員会

当委員会の今任期中の活動も、いよいよ大詰めになってきました。昨年は「政策立案推進会議」を生み出し、議会としての政策立案能力向上が大きく高まりました。今年に入り、①議決事項の拡大、②請願・陳情者の発言機会の確保、等を中心に取り組んできました。とりわけ重要なのが①で、先の地方自治法改正により、来年度改定時期を迎える「奄美市総合計画」が議会の議決事項から外れ、このままでは議会の積極的な関与なしに基本構想などが策定される状況でした。全国

ムそのに
新しい理念を
これからの
地域づくりに!

的に多くの自治体議会でも、議会基本条例を改正することによりこれに対応しており、奄美市議会でもその方向で検討を進めてきました。これまで議決事項に入っていなかった総合計画の基本計画や地方創生の総合戦略も、それに含めるよう調整中です。これにより、議会と行政との協働がさらに強まるとともに、市民の皆様の見解も本市の重要な構想・計画にこれまで以上に反映されやすくなるものと考えます。9月定例会での議会基本条例改正を目指し、鋭意作業を進めて参ります。

本通信第27号に記述した「SDGs(持続可能な開発目標)」を今回初めて一般質問で取り上げ、今後改定される奄美市の総合計画や総合戦略に反映してどうかと提案しました。国際社会全体が2030年までに達成すべき目標が定められ、各国政府だけでなく、それぞれの自治体においてもその取り組みが期待されています。水・資源などの「環境」、教育・健康・まちづくりなどの「社会」、経済成長・不平等の是正などの「経済」という3つの分野にわたる課題の解決に統合的に取り組むもので、地域行政とも親和性が高いといえます。指標例として障がい者雇用率・有給取得率・自治会加入率・公共施設のバリアフリー化完了率などがあり、また、施策例として授業以外の学習支援・子



ども食堂運営支援・給付型奨学金・公共交通の利便性向上・女性管理職の登用などがありません。既に瀬戸内町や徳之島町でも、SDGsを生かした地域経営に取り組んでいるようです。世界自然遺産に相応しいまちづくりとも合致する理念ですので、本市でもこれを進んで取り入れ、地域に適した表現で伝え、新しい文化として根付かせていけるよう邁進してほしいと念願しております。

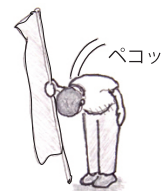


そうへいからの お知らせ

- お困りごとや奄美市へのご要望等ありましたらお寄せください！皆様のお声が、私たち議員の活動の源になります。
- 本チラシの「配布ボランティア」を募集しております！

●LINE、ブログ、ツイッター、フェイスブックでも活動情報発信中です！

よろしくお願いします！



連絡先：奄美市名瀬小俣町 29-32
 携帯電話：090-3546-7031
 ※留守電の時はご用件を入れてください。
 Eメール：sohei@mskj.or.jp